

令和7年度 熊本市立本荘小学校のスタートにあたって



令和7年4月3日（木） 熊本市立本荘小学校

学校経営構想の概要

校訓 “なかよく・かしこく・たくましく”
教育目標「あいうえお」いっぱいの子どもの育成

重点努力目標

「自尊心を高め未来を切り拓く力を

身につけるための人権教育の推進」

＜認め、褒め、励まし、お互いを理解し、支えあい、伸ばす＞

学校経営スローガン ※校長としての結論、ここが最高到達点
思いやりの心と笑顔で

「学校が楽しい、授業が楽しい、みんな大好き」笑顔の本荘小

学校の現状

(令和6年2月1日 現在)

児童数 70人 (通常学級 66人、なかよし学級4人)

1年 16人 2年 7人 3年 13人 4年 7人 5年 11人

6年 12人 なかよし1組(知的) 3人 なかよし2組(自・情) 1人

課題

- 最新の教育活動の実践
(ICTを活用した教育、授業改善)
- 働き方改革と教育の質の両立
- 児童数最適化のための戦略



めざす学校像 児童像 教師像

めざす学校像 思いやりの心で笑顔あふれる 一人一人の人権が大切にされた楽しい学校	
1	子どもも教職員も笑顔で生き生きと 学び合う学校
2	安全・安心な生活ができる学校
3	美しく整備され、落ち着きと潤いの ある学校
4	希望と向上心にあふれる学校
5	保護者・地域に信頼され、本荘っ子を ともに育む開かれた学校

めざす児童像 思いやりの心で笑顔あふれる人権感覚豊かな子ども	
あ	あいさついっぱいの子ども
い	いのちを守る心いっぱいの子ども
う	運動・歌声いっぱいの子ども
え	笑顔の学びいっぱいの子ども
お	大きな夢いっぱいの子ども

めざす教職員像 思いやりの心で笑顔あふれる人権感覚の高い教師	
○	一人一人の子どもの願いや悩みを 理解し、愛情深く寄り添い導く教職員 (「子ども理解」と「授業UD」の観点から)
○	子ども・保護者・地域から 信頼される教職員
○	授業力・指導力の向上等をめざし 常に研究と修養に努める教職員
○	本荘小の一員としての自覚と 誇りをもち本荘小のよさ・伝統を さらに発展させる教職員

- 人間尊重の精神を基底におき、人権教育を柱とし、徳・知・体の調和のとれた主体性・創造性・協働性にあふれる教育を推進する。
- 家庭地域社会との連携を図りながら、学習指導要領に基づいた、「生きる力」を育成するための「本荘小学校の教育」を推進する。

- 1 「子ども理解」を基盤とし、すべての子どもが大切にされる学校づくり
- 2 授業のUD化を図り、一人一人の学力を確実に伸ばす
- 3 すべての職員で一人一人の子どものを育てる(自尊感情を大切に)
- 4 すべての子どもが安全、安心にすごせる学校づくり



- 達成感のある授業づくり(授業改善、効果的な教材研究、「子ども理解」に基づいた実態分析)
- 子どもの困り感に寄り添う学級経営(特別支援教育の観点、授業UDの観点)
- 子どもを認め、褒め、励まし、自己肯定感を高める教師のかかわり
- 保護者・地域と手を携えながら子どもを育てる学校づくり

1年間を振り返って・・・

本莊小学校 春





本莊小学校 春

本荘小学校 春



本荘小学校 夏





本莊小学校 秋



本荘小学校



本荘小学校 冬 新春もちつき

学校だより



令和6年度 第45号
令和7年1月24日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

毎年、新年を迎えて考えること。それは、こどもたち一人一人の学力の向上についてです。

校長として、毎年、この時期に考えるのがこどもたちの学力向上です。学校では、授業改善をキーワードに子どもたちの主体的な学びを育てる授業づくりに取り組んでいます。しかしながら、先生方の日々の努力だけでは、学力アップに直結するものではないことはどの学校も同じなのです。やはり、学校の学びだけでなく、家庭でも主体的に学びへ向かうことが、将来的にも大切になってくると考えます。それで、家庭学習に関する資料を冬休みの間に探していたのです。下に掲載しているのは、新潟県教育委員会が出している資料です。

まず、家庭学習においては「家庭学習の開始時刻を決める、学習場所を固定する、学習量（時間やページ数など）を決めるなど、家庭学習のルールを決めることが重要です。」とあります。その他、ほめ方、励まし方、学習環境の在り方についても書いてありますので参考にしてください。（裏面に続きます） 資料：新潟県教育委員会HPより（QRコード参照）



学校と家庭が連携して子どもたちに確かな学力を！

本荘小学校の取り組み

1 「子ども理解に基づく授業改善」

授業改善を大切にする教師集団



コミュニケーション能力の育成(対話)



ICTを活用した学習活動



不易と流行

日本と世界の1

- ・楽しそう
- ・おもしろ
- ・はじ
- ・年々いびりばり
- ・学校

① 情えが おもしろい ところ。

2. 日本と世界の2

② アフガニスタンとランドセルの1つを調べよう。

アフガニスタン
場所、現状、様子

日本のランドセル
どんなランドセル
どんなものがあろうか

アジア大陸の中央に位置し、イラン、パキスタンなど6カ国に囲まれ、内陸国です。国土の大部分が山岳や高原で、気候は乾燥している。世界最貧国の一つで、アジアの中で幼児死亡率は最も高く、識字率が最も低い国です。

識字率とは、特定の国や地域における読み書きができる人の割合のこと。アフガニスタンにおける識字率は非常に低く(男性50%、女性34%)、特に女性の識字率は世界的にも最低レベルにあり、人口の4割程度の約100万人が文盲にある。人口は約2億7000万人。日本で使われているランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女子の就学に役立てる国際支援活動があります。ランドセルを贈ることにより、子どもたちが学校で学ぶ機会が得られ、読み書きができるようになり、自分自身や家族を守る知識や情報を身につけられるようになることを目指しています。

本荘小学校の取り組み

2 「自尊感情の育成」

低学年 学びを通してつながる



集会活動を通してつながる



集会活動を通してつながる



メッセージを通して 心があたたかくなる



命の重さを学ぶ



本荘小学校の取り組み

子どもたちの自治活動

わくわく集会 高学年のリーダーシップ



わくわく集会 低学年も意見表明



わくわく集会 大人の方からの助言にも学ぶ





自分たちの手で活動をしていく自治の力を

学校の安全と安心を守る



学校の安全と安心を守る



学校評価の結果から

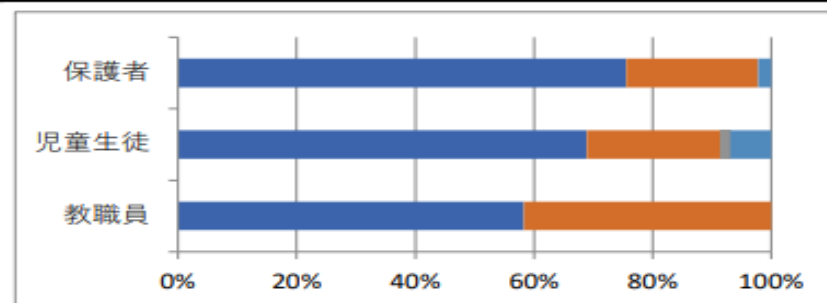
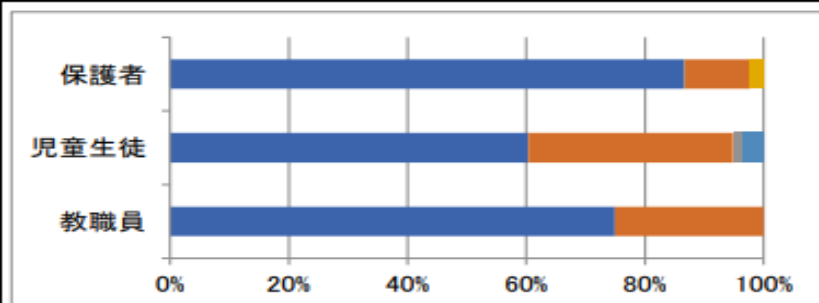
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進

1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進

学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。
 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切に作る心、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)

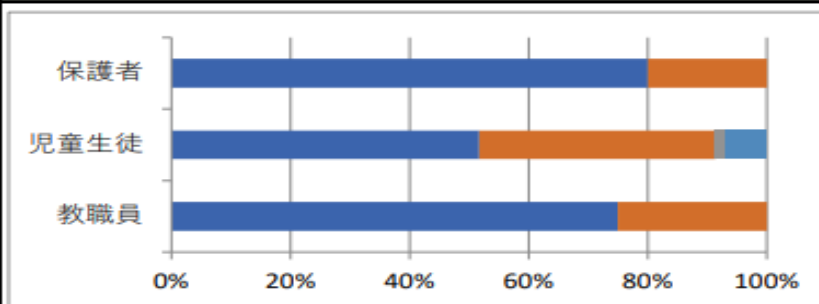
学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。



(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進

3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進

学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)



働き方改革

仕事はシビアに タイパをよくして無理をせず、価値ある教育を

より地域に開かれた学校に

地域の力を借りて子どもたちを育成

チーム学校として

学校づくりは夢づくり

未来を切り拓くことのできる子どもたちへ

ご清聴ありがとうございました。

みんなの夢かなえよう 夢体験事業 発表会



今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします